

製品名: eIF3ε ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab10379

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	EIF3F
別名	EIF3F; EIF3S5; Eukaryotic translation initiation factor 3 subunit F; eIF3f; Deubiquitinating enzyme eIF3f; Eukaryotic translation initiation factor 3 subunit 5; eIF-3-epsilon; eIF3 p47
遺伝子 ID	8665.0
SwissProt ID	O00303
免疫原	抗血清はヒト EIF3F 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

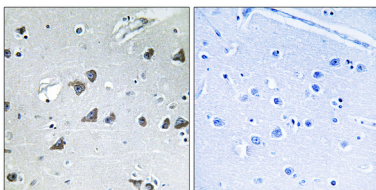
背景

機能: 真核生物翻訳開始因子 3 (eIF-3) 複合体の構成要素であり、タンパク質合成開始のいくつかの段階に必須です。eIF-3 複合体は

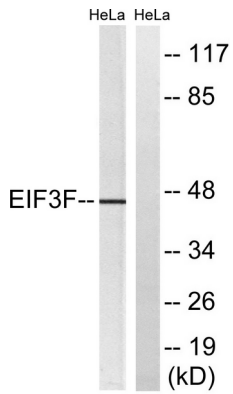
40S リボソームに会合し、eIF-1、eIF-1A、eIF-2:GTP:メチオニル tRNAⁱ、および eIF-5 のリクルートメントを促進して 43S 前翻訳開始複合体 (43S PIC) を形成します。eIF-3 複合体は、43S PIC への mRNA のリクルートメントと、AUG 認識のための mRNA のスキンを促進します。eIF-3 複合体は、終結後リボソーム複合体の分解とリサイクルにも必要であり、その後、開始前の 40S および 60S リボソームサブユニットの早期結合を防ぎます。、mass spectrometry: PubMed:17322308,mass spectrometry: PubMed:18599441,PTM:リン酸化。血清刺激によりリン酸化が促進される。、類似性:eIF-3 サブユニット F ファミリーに属します。、類似性:1 つの MPN (JAB/Mov34) ドメインを含みます。、サブユニット:真核生物翻訳開始因子 3 (eIF-3) 複合体の構成要素で、EIF3A、EIF3B、EIF3C、EIF3D、EIF3E、EIF3F、EIF3G、EIF3H、EIF3I、EIF3J、EIF3K、EIF3L、および EIF3M の 13 個のサブユニットから構成されます。eIF-3 複合体には 3 つの安定モジュールが含まれるようです。モジュール A は EIF3A、EIF3B、EIF3G、および EIF3I から構成され、モジュール B は EIF3F、EIF3H、および EIF3M から構成されます。モジュール C は EIF3C、EIF3D、EIF3E、EIF3K、EIF3L で構成されています。モジュール C の EIF3C はモジュール A の EIF3B とモジュール B の EIF3H に結合し、3 つのモジュールを連結します。EIF3J は EIF3B を介して eIF-3 複合体に結合する不安定なサブユニットです。eIF-3 複合体は、栄養枯渇状態で RPS6KB1 と相互作用します。マイトジェン刺激は FRAP1 と RAPTOR からなる複合体の結合と活性化を導き、RPS6KB1 のリン酸化と遊離、そして EIF4B の eIF-3 への結合を引き起こします。、機能:真核生物翻訳開始因子 3 (eIF-3) 複合体の構成要素であり、タンパク質合成の開始におけるいくつかのステップに必要です。eIF-3 複合体は 40S リボソームと会合し、eIF-1、eIF-1A、eIF-2:GTP:メチオニル tRNAⁱ、および eIF-5 のリクルートメントを促進して 43S 開始前複合体 (43S PIC) を形成します。eIF-3 複合体は、43S PIC への mRNA のリクルートメントと AUG 認識のための mRNA のスキンを刺激します。eIF-3 複合体はまた、終結後リボソーム複合体の分解とリサイクルにも必要であり、開始前の 40S および 60S リボソームサブユニットの早期結合を防ぎます。、mass spectrometry: PubMed:17322308,mass spectrometry: PubMed:18599441,PTM:リン酸化。血清刺激によりリン酸化が促進される。、類似性:eIF-3 サブユニット F ファミリーに属します。、類似性:1 つの MPN (JAB/Mov34) ドメインを含みます。、サブユニット:真核生物翻訳開始因子 3 (eIF-3) 複合体の構成要素で、EIF3A、EIF3B、EIF3C、EIF3D、EIF3E、EIF3F、EIF3G、EIF3H、EIF3I、EIF3J、EIF3K、EIF3L、および EIF3M の 13 個のサブユニットから構成されます。eIF-3 複合体には 3 つの安定モジュールが含まれるようです。モジュール A は EIF3A、EIF3B、EIF3G、および EIF3I から構成され、モジュール B は EIF3F、EIF3H、および EIF3M から構成されます。モジュール C は EIF3C、EIF3D、EIF3E、EIF3K、EIF3L から構成されています。モジュール C の EIF3C はモジュール A の EIF3B とモジュール B の EIF3H に結合し、3 つのモジュールを連結します。EIF3J は不安定なサブユニットであり、EIF3B を介して eIF-3 複合体に結合します。eIF-3 複合体は、栄養枯渇状態において RPS6KB1 と相互作用します。マイトジェン刺激は、FRAP1 と RAPTOR からなる複合体の結合と活性化を促し、RPS6KB1 のリン酸化と遊離、そして EIF4B の eIF-3 への結合を引き起こします。

研究分野

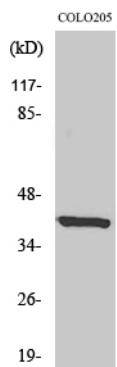
画像データ



EIF3F 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



EIF3F 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



eIF3ε ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析